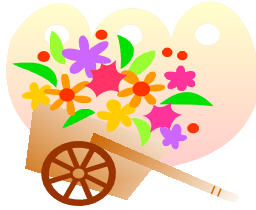




## スクウェアダンスに出会って



2011.1

2年程前、糖尿病予備群にいる体を 何とかしなくっちゃ! とツラツラ思っていたところ、我が家のポストに黄色い小さなチラシが入っていた。

「スクエアダンス」という初めて聞く名に ? と 思いながら、「脳トレ」と「2時間で7,000歩」に引き寄せられ 無料体験講習を覗いて見るだけのつもりでコミュニティーセンターに出かけたところ、見学だけではなく見たとおりをその場で踊る羽目になった。

翌日から気がつくとコーラー西村氏の 明るい弾む声がリズムに乗って頭に流れている。それほど印象深かった感覚はなかったのに、何か体の方が意識より先に反応したよう。それからはベーシックプログラムの50余のコールを覚えるのに懸命。

ウン十年ぶりに「記憶」する作業が始まる。 これぞ 脳トレ!

そして その秋からは早くもM.Sプログラムの講習が始まり、いくつかのパーティーがあり、昨秋からはプラスプログラムの講習と、かなり早いテンポで進んでいく。

ただ、毎年 春から夏にかけてはベーシック、秋からはM.Sの講習が繰り返され、その都度 ベーシックの中にきちんと理解していない箇所を発見したり、間違っ覚えていたことがあったりで 再確認を繰り返して、序々に踊れるようになるよう仕組まれている。

「スクウェアダンス」 なんとなく 目的意識もないまま始めてみたけれど M.Sの講習が終わって少し踊れるようになって初めて「オモシロイ!」を実感するようになった。更に プラスは難しいけれど 挑みガイがあり、スクウェアダンスの奥深さと 多様性に触れ、なんて頭のイイ人が考え出したダンスだろうと 感嘆すること しきり。

ただ、頑張ってはいるのだけれど 悲しいかな 寄る年波か 覚えたことがスルスルッと消えていく、またはスッと出てこない! (年のせいにしているだけ?)

これも毎年繰り返される講習で 頭と体に馴染ませるっきゃない と 長期戦で取り組むことにした。

そして、コール 一つを覚えるとその次、その次と際限なく繋がっていく、上を目指す意欲が芽生える。この意欲 年を取るにつれ 大切になっていくんだろうな と思い始めているところ。



小絹カントリーロードSDC 第7期生 神保朋子